

高鍋町公共施設個別施設計画



Takanabe

令和3年7月 策定

令和6年3月 改訂

目次

はじめに	p. 1
1. 対象とする施設用途区分	p. 1
2. 計画期間	p. 2
3. 対策の優先順位の考え方	p. 2
4. 方針の説明	p. 5
個別施設計画個票	
町民文化系施設	p. 6
社会教育系施設	p. 8
スポーツ・レクリエーション系施設	p. 11
子育て支援施設	p. 18
保健・福祉施設	p. 19
行政系施設	p. 25

はじめに

高鍋町には、主に高度経済成長期及び 1970 年代から 1980 年代に建設された公共施設が数多く存在しています。

それらの公共施設の多くは RC(鉄筋コンクリート)造の建物で、その多くが築 30 年から 50 年程を迎えており、施設の維持管理をしていくための経費をはじめ、老朽化に伴う改修や建替えの費用は町財政に大きな負担となることが予想されています。

また、全国的に地方における人口減少が問題になっていますが、高鍋町人口ビジョンの推計においても 2060 年には 13,000 人を切る予想となっており、それに伴って公共施設等の利用需要が変化し、余剰となる施設の整理や有効活用が課題となってくることから、高鍋町では「高鍋町公共施設等総合管理計画」を策定しています。

「高鍋町公共施設等総合管理計画」では、公共施設全体の現状や課題を把握しながら、将来人口及び財源などの分析を基に、今後の公共施設の維持管理の取組に関する基本方針について定めています。

「高鍋町公共施設個別施設計画」は、「高鍋町公共施設等総合管理計画」を受け、公共施設のより効率的、効果的な維持管理を実現するために策定したものです。

「高鍋町公共施設個別施設計画」では、公共施設の長期的な視点における更新、改修、廃止等について定めています。

1. 対象とする施設用途区分

大分類	中分類	小分類
公共施設	町民文化系施設	公民館、その他の集会施設など
	社会教育系施設	図書館、美術館など
	スポーツ・レクリエーション系施設	体育館、運動公園、レクリエーション施設など
	産業系施設	加工施設
	学校教育系施設	小学校、中学校、給食施設
	子育て支援施設	保育園
	保健・福祉施設	高齢者福祉施設、保健センターなど
	行政系施設	庁舎、消防施設など
	公営住宅	町営住宅
	公園	公園施設
	供給処理施設	廃棄物処理場
	その他建築系公共施設	駅前駐車場、教職員住宅など

※本町の公共施設のうち、主要なものから個別施設計画を策定し、必要に応じて順次追加していきます。

2. 計画期間

本計画の期間は、令和3年度から令和12年度までの10年間とします。

※計画期間中も必要に応じて、計画の見直しを行っていきます。

3. 対策の優先順位の考え方

対策の優先順位については、洪水の浸水地域・津波の浸水地域、劣化診断調査の結果、利用者数、コスト状況を数値化した平均点を基本とし、施設の重要度や、重複する施設の有無、今後の更新費用、人口減少などを考慮し総合的に判断をしています。

(1) 洪水の浸水地域・津波の浸水地域

「高鍋町洪水・土砂災害ハザードマップ」及び「高鍋町津波ハザードマップ」の浸水想定地域を下表の点数配分で数値化し、合計100点満点としています。

洪水・土砂災害ハザードマップ			津波ハザードマップ		
想定なし	I	50	0.3m未満	I	50
0.5m未満	II	40	0.3m以上1.0m未満	II	40
0.5m以上3.0m未満	III	30	1.0m以上2.0m未満	III	30
3.0m以上5.0m未満	IV	20	2.0m以上5.0m未満	IV	20
5.0m以上	V	10	5.0m以上20.0m未満	V	10

(2) 劣化診断（健全度）

各施設の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、合計100点満点で数値化したものです。

部位別劣化度の評価は、屋根・屋上、外壁は目視状況により、内部仕上げ、電気設備、機械設備は部位の全面的な改修年からの経過年数を基本に下表のと通りの4段階で評価しています。

※施設の規模や改修状況によって実施していない施設があります。

劣化診断調査の目視による評価基準【屋根・屋上、外壁】

評価	基準	配点
A	概ね良好	100点
B	局所、部分的に劣化が見られるが、安全上、機能上、問題なし	75点
C	随所、広範囲に劣化が見られ、安全上、機能上、低下の兆しが見られる	40点
D	随所、広範囲に著しい劣化が見られ、安全上、機能上、問題があり、早急に対応する必要がある	10点

劣化診断調査の経過年数による評価基準【内部仕上げ、電気設備、機械設備】

評価	基準（経過年数）	配点
A	20年未満	100点
B	20年以上 40年未満	75点
C	40年以上	40点
D	経過年数に関わらず劣化が著しい場合	10点

施設健全度は、下記の計算式で算出しています。

健全度の計算式

$$\text{健全度} = \text{総和（部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分）} \div 60$$

※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っています。

※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示しています。

計算例)

	評価		評価点	×	配分	=	
1 屋根・屋上	C	→	40	×	5.1	=	204
2 外壁	D	→	10	×	17.2	=	172
3 内部仕上げ	B	→	75	×	22.4	=	1,680
4 電気設備	A	→	100	×	8	=	800
5 機械設備	C	→	40	×	7.3	=	292
					計		3,148
						÷	60
					健全度		52

図表. 部位のコスト配分

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	5.1
2 外壁	17.2
3 内部仕上げ	22.4
4 電気設備	8.0
5 機械設備	7.3
計	60.0

※部位のコスト配分は、文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」を参考に設定しています。

(3) 利用者数

利用者の人数に応じて 100 点満点で数値化しており、点数配分は下表のとおりです。

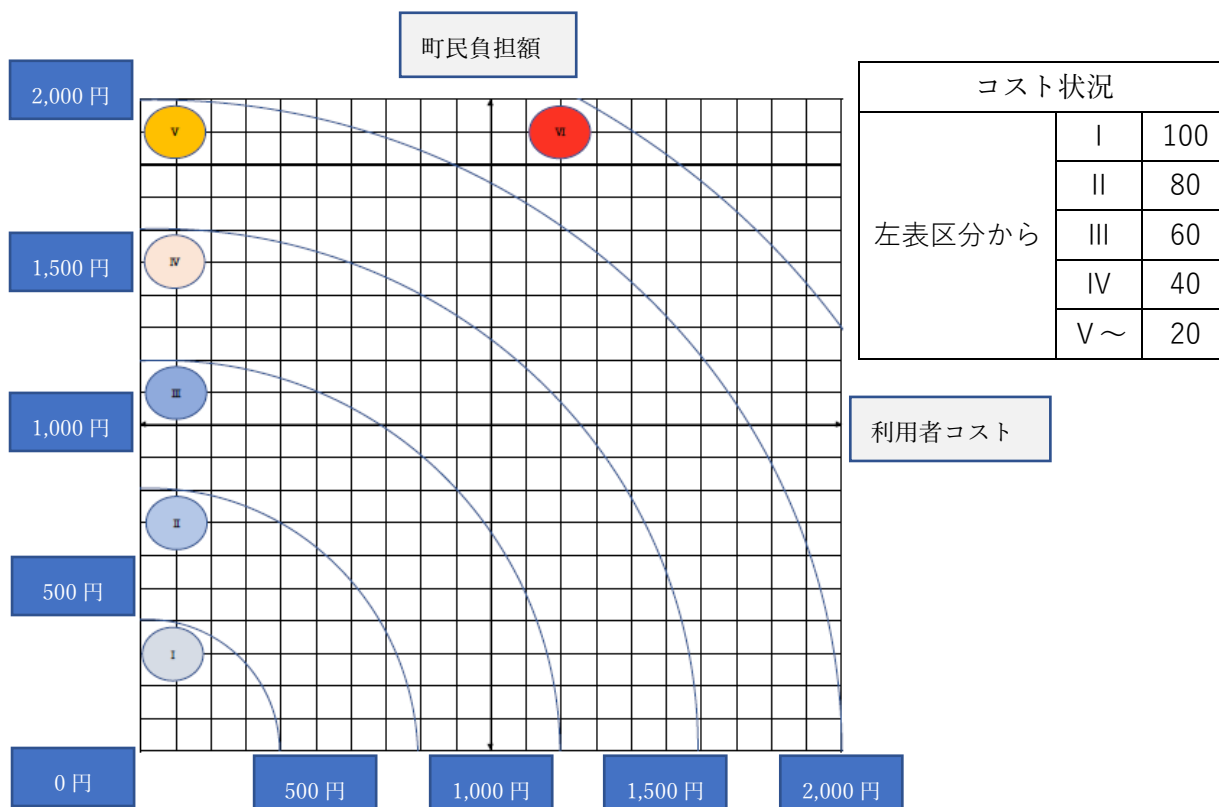
※役場本庁舎のような施設の使用を目的としない施設や、一般の方が利用されない施設については数値化を行っていません。

利用者数		
4 万人以上	I	100
3 万人以上 4 万人未満	II	80
2 万人以上 3 万人未満	III	60
1 万人以上 2 万人未満	IV	40
1 万人未満	V	20

(4) コスト状況

年間にかかる維持管理経費から算出した町民一人あたりの負担額と、利用者一人あたりのコストの 2 点を下表のとおり区分し、区分に応じ 100 点満点で数値化しています。

※役場本庁舎のような施設の使用を目的としない施設や、一般の方が利用されない施設については数値化を行っていません。



4、方針の説明

高鍋町では、方針を8つに分けて策定を行っており、各方針の説明は下表のとおりです。

1	建替	今後建替を行うもの
2	集約化	異なる施設の機能を集約し、1施設にまとめるもの
3	長寿命化	耐用年数を延ばして今後も施設を管理していくもの
4	大規模改修	耐用年数まで適正に管理をするために改修を行うもの
5	現状維持（維持）	今後10年間は改修等を行わないが、継続して管理を行うもの
6	現状維持（要検討）	今後のあり方について検討し方針を見直すもの
7	現状維持（廃止）	将来的に廃止を予定し、機能の整理を行っていくもの
8	廃止	今後10年間のいずれかの時点で廃止とするもの

個別施設計画

施設名

高鍋町中央公民館

施設の概要	所在地	宮崎県児湯郡高鍋町大字上江8113番地
	担当課	社会教育課
	施設の用途	町民文化系施設

建物状況	名称	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年月日	新耐震基準	耐震化状況
	高鍋町中央公民館	鉄筋コンクリート	3	2517.6	1983/8/30	○	—
	劣化診断調査結果						
	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度	
B	C	B	B	B	64		

優先順位	A		B	C	D	A~D平均
	洪水浸水想定区域	津波浸水想定区域	劣化診断調査結果	利用者数	コスト状況	
	Ⅲ	Ⅰ	64	Ⅲ	V	
30	50	60		20	56	

対応方針	現状	生涯学習の拠点として活用され大人数での式典などに利用されている。	課題等	築年数が経過しているため老朽化が進んでいる。施設が非常に大きく、ホール等の特殊な設備があるため、改修費用が高額になっている。1,000人収容のホールは埋まることはほとんどない。
	実施計画	今後のあり方について検討を行う。	方針	現状維持(要検討)

方針説明	今後の中央公民館のあり方を検討したうえで方針の見直しを行う。
------	--------------------------------

※令和5年までは実績、令和6年以降は計画

実施計画(10か年分)					
年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
対策内容の種別				改修	
事業内容				改修基本設計	
費用(円)				21,120,000	
年度	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策内容の種別					
事業内容					
費用(円)					

個別施設計画

施設名 蚊口地区学習等供用施設

施設の概要	所在地	宮崎県児湯郡高鍋町大字蚊口浦33番地3
	担当課	社会教育課
	施設の用途	町民文化系施設

名称	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年月日	新耐震基準	耐震化状況
蚊口地区学習等供用施設	鉄筋コンクリート	2	541.7	1985/12/25	○	—
劣化診断調査結果						
屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度	
B	C	B	B	B	64	

優先順位	A		B	C	D	A~D平均
	洪水浸水想定区域	津波浸水想定区域	劣化診断調査結果	利用者数	コスト状況	
	Ⅲ	Ⅱ	64	V	I	
30	40	20		100	64	

対応方針	現状	蚊口連協内の自治公民館活動の拠点として利用されている。	課題等	全体的な老朽化が進んでいる。駐車場整備やバリアフリー化が必要となってくる。
	実施計画	適切に維持管理し、必要に応じて改修を検討する。	方針	現状維持(維持)

方針説明	令和6年度にサッシ取替、外壁塗装、屋上防水工事を実施予定。その後も継続して利用していくための改修を行い管理していく。
------	--

※令和5年までは実績、令和6年以降は計画

実施計画(10か年分)					
年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
対策内容の種別			改修	改修	
事業内容			サッシ等改修工事実施設計	サッシ等改修工事	
費用(円)			1,650,000	43,890,000	
年度	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策内容の種別					
事業内容					
費用(円)					

個別施設計画

施設名

町立図書館

施設の概要	所在地	宮崎県児湯郡高鍋町大字南高鍋551番地
	担当課	社会教育課
	施設の用途	社会教育系施設

建物状況	名称	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年月日	新耐震基準	耐震化状況
	町立図書館	鉄筋コンクリート	2	747.3	1978/3/10	×	○
	劣化診断調査結果						
	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度	
—	—	—	—	—	—		

優先順位	A		B	C	D	A~D平均
	洪水浸水想定区域	津波浸水想定区域	劣化診断調査結果	利用者数	コスト状況	
	Ⅲ	Ⅰ	—	Ⅳ	Ⅵ	
	30	50		40	20	43

対応方針	現状	図書館として利用されている。	課題等	一部室内の壁や床に老朽化が見られる。
	実施計画	令和3年度に長寿命化工事を実施した。今後は適切に維持管理していく。	方針	現状維持(維持)

方針説明	令和12年度までに大規模な改修は予定しないが、継続して利用していくための改修を行い管理していく。
------	--

※令和5年までは実績、令和6年以降は計画

実施計画(10か年分)					
年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
対策内容の種別	長寿命化		改修		
事業内容	○外壁・屋上防水改修 ○トイレバリアフリー化 ○空調・換気設備更新 等		機械室等改修工事		
費用(円)	99,264,800		31,559,000		
年度	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策内容の種別					
事業内容					
費用(円)					

個別施設計画

施設名	高鍋町美術館
-----	--------

施設の概要	所在地	宮崎県児湯郡高鍋町大字南高鍋6916番地1
	担当課	社会教育課
	施設の用途	社会教育系施設

建物状況	名称	美術館	構造	鉄筋コンクリート	階数	1	延床面積 (㎡)	1409.93	建築年月日	1998/9/30	新耐震基準	○	耐震化状況	—
	劣化診断調査結果													
	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度								
	B	C	B	B	B	64								

優先順位	A		B	C	D	A~D平均
	洪水浸水想定区域	津波浸水想定区域	劣化診断調査結果	利用者数	コスト状況	
	Ⅲ	Ⅰ	64	Ⅳ	Ⅴ	
30	50	40		20	51	

対応方針	現状	芸術文化の拠点として利用され、常設展、企画展、特別展などが開かれるほか、美術館講座やワークショップ等の会場になっている。	課題等	収蔵庫の容量が逼迫している。設備が老朽化しており、照明設備では現在生産されているものでは交換ができないものがある。また、空調の年次的な更新も必要である。
	実施計画	今後のあり方について検討を行う。	方針	現状維持(要検討)

方針説明	展示スペースの検討や設備の検討を行ったうえで方針の見直しを行う。
------	----------------------------------

※令和5年までは実績、令和6年以降は計画

実施計画(10か年分)					
年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
対策内容の種別		改修	改修	改修	
事業内容		○屋上防水改修工事実施設計 ○多目的ホール照明LED化	○空調・換気設備改修工事実施設計 ○屋上防水改修工事	○収蔵庫空調更新 ○展示室LED照明器具改修	
費用(円)		1,375,000	10,436,800	21,915,000	
年度	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策内容の種別					
事業内容					
費用(円)					

個別施設計画

施設名	高鍋町歴史総合資料館
-----	------------

施設の概要	所在地	宮崎県児湯郡高鍋町大字南高鍋6937番地2
	担当課	社会教育課
	施設の用途	社会教育系施設

建物状況	名称	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年月日	新耐震基準	耐震化状況
	高鍋町歴史総合資料館	鉄筋コンクリート	2	904.43	1986/3/20	○	—
	劣化診断調査結果						
	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度	
B	B	B	B	B	75		

優先順位	A		B	C	D	A~D平均
	洪水浸水想定区域	津波浸水想定区域	劣化診断調査結果	利用者数	コスト状況	
	I	I	75	V	VI以上	
	50	50		20	20	

対応方針	現状	文化財展示のほか、高鍋町の農村生活様式などの民族資料や、古代から中世、藩政時代を伝える歴史資料が収蔵、展示されている。	課題等	利用者が少ない。 資料の寄贈、寄託が多く倉庫容量が逼迫している。 重複する資料が多いため、返還等を行う必要がある。 空調の改修が必要。
	実施計画	今後のあり方について検討を行う。	方針	現状維持(要検討)

方針説明	資料館の今後のあり方を検討していく。
------	--------------------

※令和5年までは実績、令和6年以降は計画

実施計画(10か年分)					
年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
対策内容の種別					
事業内容					
費用(円)					
年度	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策内容の種別					
事業内容					
費用(円)					

個別施設計画

施設名

小丸河畔運動公園屋内多目的広場

施設の概要	所在地	宮崎県児湯郡高鍋町大字持田6304番地28
	担当課	社会教育課
	施設の用途	スポーツ・レクリエーション系施設

建物状況	名称	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年月日	新耐震基準	耐震化状況
	小丸河畔運動公園屋内多目的広場	鉄骨造	1	1077.88	2011/2/28	○	—
	劣化診断調査結果						
	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度	
A	A	A	A	A	A	100	

優先順位	A		B	C	D	A~D平均
	洪水浸水想定区域	津波浸水想定区域	劣化診断調査結果	利用者数	コスト状況	
	V	IV	100	V	I	
10	20	20		100	63	

対応方針	現状	屋内スポーツなどに利用されている。	課題等	照明が水銀灯を使用しており、改修が必要。
	実施計画	適切に維持管理し、必要に応じて改修を検討する。	方針	現状維持(維持)

方針説明	令和12年度までに大規模な改修は予定しないが、継続して利用していくための改修を行い管理していく。
------	--

※令和5年までは実績、令和6年以降は計画

実施計画(10か年分)					
年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
対策内容の種別				改修	
事業内容				照明LED化実施設計	
費用(円)				1,000,000	
年度	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策内容の種別					
事業内容					
費用(円)					

個別施設計画

施設名

高鍋町体育館

施設の概要	所在地	宮崎県児湯郡高鍋町大字上江8339番地
	担当課	社会教育課
	施設の用途	スポーツ・レクリエーション系施設

建物状況	名称	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年月日	新耐震基準	耐震化状況
	高鍋町体育館	鉄筋コンクリート	1	1210	1969/7/30	×	○
	劣化診断調査結果						
	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度	
	B	A	A	A	A	97	

優先順位	A		B	C	D	A~D平均
	洪水浸水想定区域	津波浸水想定区域	劣化診断調査結果	利用者数	コスト状況	
	II	I	97	II	I	
	40	50		80	100	

対応方針	現状	屋内スポーツなどに利用されている。	課題等	アリーナ以外での雨漏りがある。
	実施計画	適切に維持管理し、必要に応じて改修を検討する。	方針	現状維持(維持)

方針説明	平成25年度に大規模改修を実施。令和12年度までに大規模な改修は予定しないが、継続して利用していくための改修を行い管理していく。
------	--

※令和5年までは実績、令和6年以降は計画

実施計画(10か年分)					
年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
対策内容の種別					
事業内容					
費用(円)					
年度	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策内容の種別					
事業内容					
費用(円)					

個別施設計画

施設名

高鍋勤労者体育センター

施設の概要	所在地	宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋3660番地1
	担当課	社会教育課
	施設の用途	スポーツ・レクリエーション系施設

建物状況	名称	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年月日	新耐震基準	耐震化状況
	高鍋勤労者体育センター	鉄筋コンクリート	1	776.3	1982/3/25	○	—
	劣化診断調査結果						
	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度	
B	B	B	B	B	75		

優先順位	A		B	C	D	A~D平均
	洪水浸水想定区域	津波浸水想定区域	劣化診断調査結果	利用者数	コスト状況	
	Ⅲ	Ⅲ	75	Ⅲ	Ⅰ	
30	30	60		100	74	

対応方針	現状	雇用促進事業団が建設したものが町に移譲され、町有体育館になっている。屋内スポーツに利用されている。	課題等	全体的な老朽化が進んでいる。水銀灯を使用しており、使用していくには改修が必要となる。駐車場の改修が必要。
	実施計画	廃止に向けた準備を行っていく。	方針	廃止

方針説明
現在高鍋町には、体育館施設が3つあり、総合体育館は県内有数の広さを誇る体育館となっている。今後の人口減少や財政状況を考えると継続して管理していくことは難しく、水害時の浸水区域であることや劣化状況から勤労者体育センターを廃止予定とする。

※令和5年までは実績、令和6年以降は計画

実施計画(10か年分)					
年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
対策内容の種別					
事業内容					
費用(円)					
年度	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策内容の種別					
事業内容					
費用(円)					

個別施設計画

施設名	高鍋町総合体育館
-----	----------

施設の概要	所在地	宮崎県児湯郡高鍋町大字上江7790番地
	担当課	社会教育課
	施設の用途	スポーツ・レクリエーション系施設

建物状況	名称	高鍋町総合体育館	構造	鉄筋コンクリート	階数	1	延床面積 (㎡)	5266.92	建築年月日	1991/12/10	新耐震基準	○	耐震化状況	—
	劣化診断調査結果													
	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度								
	—	—	—	—	—	—								

※劣化診断調査は計画見直し時期に実施予定

優先順位	A		B	C	D	A~D平均
	洪水浸水想定区域	津波浸水想定区域	劣化診断調査結果	利用者数	コスト状況	
	I	I	—	I	II	
	50	50	—	100	80	

対応方針	現状	県内有数の床面積を誇る体育館。屋内スポーツ施設として利用されている。	課題等	特になし
	実施計画	適切に維持管理し、必要に応じて改修を検討する。	方針	現状維持(維持)

方針説明	令和12年度までに大規模な改修は予定しないが、継続して利用していくための改修を行い管理していく。
------	--

※令和5年までは実績、令和6年以降は計画

実施計画(10か年分)					
年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
対策内容の種別	大規模改修	改修	改修		
事業内容	○アリーナ改修 (天井・床・照明) ○施設内床シート改修	受変電設備等改修 工事実施設計	受変電設備等改修 修工事		
費用(円)	337,619,997	426,800	15,840,000		
年度	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策内容の種別					
事業内容					
費用(円)					

個別施設計画

施設名

高鍋町弓道場

施設の概要	所在地	宮崎県児湯郡高鍋町大字上江7790番地
	担当課	社会教育課
	施設の用途	スポーツ・レクリエーション系施設

建物状況	名称	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年月日	新耐震基準	耐震化状況
	高鍋町弓道場	鉄骨造	2	676.98	1995/12/20	○	—
	劣化診断調査結果						
	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度	
B	B	B	B	B	75		

優先順位	A		B	C	D	A~D平均
	洪水浸水想定区域	津波浸水想定区域	劣化診断調査結果	利用者数	コスト状況	
	I	I	75	V	I	
50	50	20		100	74	

対応方針	現状	弓道場として利用されている。	課題等	競技人口が利用者数に大きく影響するので、競技人口が減ると利用者数も減ってしまう。
	実施計画	適切に維持管理し、必要に応じて改修を検討する。	方針	現状維持(維持)

方針説明	令和12年度までに大規模な改修は予定しないが、継続して利用していくための改修を行い管理していく。
------	--

※令和5年までは実績、令和6年以降は計画

実施計画(10か年分)					
年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
対策内容の種別					
事業内容					
費用(円)					
年度	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策内容の種別					
事業内容					
費用(円)					

個別施設計画

施設名	小丸河畔運動公園野球場
-----	-------------

施設の概要	所在地	宮崎県児湯郡高鍋町大字持田6304番地28
	担当課	社会教育課
	施設の用途	スポーツ・レクリエーション系施設

建物状況	名称	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年月日	新耐震基準	耐震化状況
	小丸河畔運動公園野球場	鉄筋コンクリート	1	128.8	1976	×	×
	劣化診断調査結果						
	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度	
—	—	—	—	—	—		

※劣化診断調査は計画見直し時期に実施予定

優先順位	A		B	C	D	A~D平均
	洪水浸水想定区域	津波浸水想定区域	劣化診断調査結果	利用者数	コスト状況	
	V	V	—	V	II	
	10	10		20	80	

対応方針	現状	野球競技者の利用とスポーツキャンプに利用されている。	課題等	本部席の老朽化が進んでいる。 ナイター設備の改修が必要。
	実施計画	今後のあり方について検討を行う。	方針	現状維持(要検討)

方針説明	ナイター設備等の今後の運営方針を検討し計画の見直しを行う。
------	-------------------------------

※令和5年までは実績、令和6年以降は計画

実施計画(10か年分)					
年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
対策内容の種別		改修			
事業内容		高圧負荷開閉器更新			
費用(円)		467,500			
年度	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策内容の種別					
事業内容					
費用(円)					

個別施設計画

施設名	高鍋総合運動公園野球場
-----	-------------

施設の概要	所在地	宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋3882番地1
	担当課	社会教育課
	施設の用途	スポーツ・レクリエーション系施設

建物状況	名称	高鍋総合運動公園野球場	構造	鉄筋コンクリート	階数	1	延床面積 (㎡)	684	建築年月日	1978/3/20	新耐震基準	×	耐震化状況	×
	劣化診断調査結果													
	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度								
	C	C	C	C	C	40								

優先順位	A		B	C	D	A~D平均
	洪水浸水想定区域	津波浸水想定区域	劣化診断調査結果	利用者数	コスト状況	
	V	V	40	IV	II	
	10	10		40	80	45

対応方針	現状	高鍋高校野球部の練習場として利用されるほか、スポーツキャンプに利用されている。	課題等	本部席の老朽化が進んでいる。 2027年開催予定の国体に向けた改修が必要。
	実施計画	今後のあり方について検討を行う。	方針	現状維持(要検討)

方針説明	2027年開催予定の国体に向けた改修を検討し計画の見直しを行う。
------	----------------------------------

※令和5年までは実績、令和6年以降は計画

実施計画(10か年分)					
年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
対策内容の種別		改修	改修	改修	
事業内容		○バックネット改修工事実施設計 ○バックネット改修工事 ○単独処理浄化槽撤去工事	改修基本設計	本部席・バックネット等改修実施設計	
費用(円)		4,103,000	4,818,000	11,000,000	
年度	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策内容の種別					
事業内容					
費用(円)					

個別施設計画

施設名

町立わかば保育園

施設の概要	所在地	宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋3516番地11
	担当課	福祉課
	施設の用途	子育て支援施設

建物状況	名称	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年月日	新耐震基準	耐震化状況
	わかば保育園	鉄筋コンクリート	1	768.74	1972/12/25	×	○
	劣化診断調査結果						
	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度	
—	—	—	—	—	—	—	

優先順位	A		B	C	D	A~D平均
	洪水浸水想定区域	津波浸水想定区域	劣化診断調査結果	利用者数	コスト状況	
	Ⅲ	Ⅱ	—	—	—	
30	40	—	—	—	55	

対応方針	現状	現在、唯一の公立保育園として利用されている。	課題等	駐車場が狭く、駐車スペースの確保が望まれる。
	実施計画	適切に維持管理し、必要に応じて改修を検討する。	方針	現状維持(維持)

方針説明	令和12年度までに大規模な改修は予定しないが、継続して利用していくための改修を行い管理していく。
------	--

※令和5年までは実績、令和6年以降は計画

実施計画(10か年分)					
年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
対策内容の種別	長寿命化	長寿命化	長寿命化		
事業内容	調理室等増築他大規模改修工事	調理室等増築他大規模改修工事	外構工事(フェンス改修)		
費用(円)	24,434,000	189,118,900	2,967,800		
年度	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策内容の種別					
事業内容					
費用(円)					

個別施設計画

施設名

高鍋町老人福祉館

施設の概要	所在地	宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋311番地
	担当課	福祉課
	施設の用途	保健・福祉施設

建物状況	名称	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年月日	新耐震基準	耐震化状況
	高鍋町老人福祉館	鉄筋コンクリート	1	437	1974/3/15	×	×
	劣化診断調査結果						
	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度	
C	C	C	C	D	36		

優先順位	A		B	C	D	A~D平均
	洪水浸水想定区域	津波浸水想定区域	劣化診断調査結果	利用者数	コスト状況	
	Ⅲ	Ⅰ	36	—	—	
30	50	—		—	58	

対応方針	現状	高齢者の憩いの場として建設をされたが、現在は用途を変更。現在は、建物の一部を児湯地区更生保護サポートセンター及び高鍋町シルバー人材センターの事務所として使用している。	課題等	全体的に老朽化が進んでおり、使用していくには大規模な改修が必要。多額の費用が見込まれる。
	実施計画	老人福祉館別館(鈴木馬左也邸)の改修と並行して検討する。	方針	現状維持(要検討)

方針説明	老人福祉館別館(鈴木馬左也邸)の改修と並行して検討し、計画の見直しを行う。
------	---------------------------------------

※令和5年までは実績、令和6年以降は計画

実施計画(10か年分)					
年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
対策内容の種別					
事業内容					
費用(円)					
年度	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策内容の種別					
事業内容					
費用(円)					

個別施設計画

施設名

(旧) 高鍋町福祉センター

施設の概要	所在地	宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋300番地
	担当課	福祉課 → 農業政策課 (R6.4.1~)
	施設の用途	保健・福祉施設 → 普通財産 (R6.4.1~)

建物状況	名称	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年月日	新耐震基準	耐震化状況
	高鍋町福祉センター	鉄筋コンクリート	1	424.78	1966	×	×
	劣化診断調査結果						
	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度	
B	D	C	C	D	30		

優先順位	A		B	C	D	A~D平均
	洪水浸水想定区域	津波浸水想定区域	劣化診断調査結果	利用者数	コスト状況	
	Ⅲ	Ⅰ	30	—	—	
30	50	—		—	55	

対応方針	現状	県の施設であったが、平成9年に町に移譲された。現在は一ツ瀬川農業水利事務所として使用。国に無償貸与している。令和14年度まで使用予定。	課題等	全体的に老朽化が進んでいる。
	実施計画	一ツ瀬川農業水利事務所の使用が終了する令和14年度までで廃止する。	方針	廃止

方針説明	改修等は行わず、一ツ瀬川農業水利事務所の使用が終了する令和14年度までで廃止する。
------	---

※令和5年までは実績、令和6年以降は計画

実施計画(10か年分)					
年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
対策内容の種別					
事業内容					
費用(円)					
年度	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策内容の種別					
事業内容					
費用(円)					

個別施設計画

施設名

高鍋町高齢者等多世代交流拠点施設

施設の概要	所在地	宮崎県児湯郡高鍋町大字上江7785番地
	担当課	健康保険課
	施設の用途	保健・福祉施設

建物状況	名称	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年月日	新耐震基準	耐震化状況
	高鍋町高齢者等多世代交流拠点施設	鉄筋コンクリート	1	1433.88	1972	×	×
	劣化診断調査結果						
	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度	
	B	C	B	C	D	52	

優先順位	A		B	C	D	A~D平均
	洪水浸水想定区域	津波浸水想定区域	劣化診断調査結果	利用者数	コスト状況	
	I	I	52	V	IV	
50	50	20		40	53	

対応方針	現状	県の特別養護老人ホーム施設であったが、町に移譲され町有施設となっている。 令和6年4月1日に指定管理者でもあった特定非営利活動法人に無償譲渡する。	課題等	
	実施計画		方針	廃止

方針説明	
------	--

※令和5年までは実績、令和6年以降は計画

実施計画(10か年分)					
年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
対策内容の種別				廃止	
事業内容				無償譲渡	
費用(円)					
年度	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策内容の種別					
事業内容					
費用(円)					

個別施設計画

施設名 高鍋町福祉センター（旧高鍋町老人デイサービスセンター）

施設の概要	所在地	宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋311番地
	担当課	健康保険課 → 福祉課（R6.2.1～）
	施設の用途	保健・福祉施設

名称	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年月日	新耐震基準	耐震化状況
高鍋町老人デイサービスセンター	鉄筋コンクリート	1	460	1994/3/31	○	—
劣化診断調査結果						
屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度	
B	C	B	B	B	64	

優先順位	A		B	C	D	A～D平均
	洪水浸水想定区域	津波浸水想定区域	劣化診断調査結果	利用者数	コスト状況	
	Ⅲ	Ⅰ	64	—	—	
30	50	—		—	72	

対応方針	現状	デイサービスセンターとして利用されてきたが、令和6年2月1日に用途を変更し、高鍋町福祉センターとして高鍋町社会福祉協議会及びこゆ成年後見支援センターが使用している。	課題等	令和5年度に用途変更のための改修工事を行ったため、大きな問題はない。
	実施計画	適切に維持管理し、必要に応じて改修を検討する。	方針	現状維持(維持)

方針説明	令和12年度までに大規模な改修は予定しないが、継続して利用していくための改修を行い管理していく。
------	--

※令和5年までは実績、令和6年以降は計画

実施計画(10か年分)					
年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
対策内容の種別	改修		大規模改修		
事業内容	保育園利用のための改修工事		用途変更改修工事		
費用(円)	11,202,600		60,256,600		
年度	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策内容の種別					
事業内容					
費用(円)					

個別施設計画

施設名

高鍋町持田地区高齢者福祉センター

施設の概要	所在地	宮崎県児湯郡高鍋町大字持田3177番地
	担当課	健康保険課
	施設の用途	保健・福祉施設

建物状況	名称	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年月日	新耐震基準	耐震化状況
	高鍋町持田地区高齢者福祉センター	鉄骨造	1	320.28	2009/3/27	○	—
	劣化診断調査結果						
	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度	
A	A	A	A	A	A	100	

優先順位	A		B	C	D	A~D平均
	洪水浸水想定区域	津波浸水想定区域	劣化診断調査結果	利用者数	コスト状況	
	IV	IV	100	V	II	
20	20	20		80	60	

対応方針	現状	持田地区の集会所、高齢者の様々な活動の場として利用されており、小丸川以北で同様の施設がないため、高齢者の健康増進やレクリエーション活動・交流の場となっている。	課題等	建築年数があまり経っていないため良好だが、利用者数が減少傾向にあるため利用促進等が必要となる。
	実施計画	適切に維持管理し、必要に応じて改修を検討する。	方針	現状維持(維持)

方針説明	今後10年間は大きな改修等は予定せず、必要に応じ小規模な改修を行っていく。
------	---------------------------------------

※令和5年までは実績、令和6年以降は計画

実施計画(10か年分)					
年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
対策内容の種別					
事業内容					
費用(円)					
年度	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策内容の種別					
事業内容					
費用(円)					

個別施設計画

施設名

高鍋町健康づくりセンター

施設の概要	所在地	宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋5139番地
	担当課	健康保険課
	施設の用途	保健・福祉施設

建物状況	名称	高鍋町健康づくりセンター	構造	鉄筋コンクリート	階数	1	延床面積 (㎡)	1454.5	建築年月日	2004/4/30	新耐震基準	○	耐震化状況	—
	劣化診断調査結果													
	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度								
	A	B	A	A	A	92								

優先順位	A		B	C	D	A~D平均
	洪水浸水想定区域	津波浸水想定区域	劣化診断調査結果	利用者数	コスト状況	
	III	I	92	II	VI	
30	50	80		20	68	

対応方針	現状	母子保健事業等に利用されており、プールにおいては小学生・幼児向けの水泳教室を行っており、子供と高齢者の利用が多くなっている。	課題等	プール設備が老朽化している。ボイラーと塩素注入器の異常が多い。プール床面の劣化が進んでいる。照明に水銀灯を使用している箇所がある。空調設備が経年劣化により機能が低下している。
	実施計画	適切に維持管理し、必要に応じて改修を検討する。	方針	現状維持(維持)

方針説明	今後10年間は大きな改修等は予定せず、必要に応じ小規模な改修を行っていく。
------	---------------------------------------

※令和5年までは実績、令和6年以降は計画

実施計画(10か年分)					
年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
対策内容の種別					
事業内容					
費用(円)					
年度	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策内容の種別					
事業内容					
費用(円)					

個別施設計画

施設名	高鍋町役場庁舎
-----	---------

施設の概要	所在地	宮崎県児湯郡高鍋町大字上江8437番地
	担当課	財政経営課
	施設の用途	行政系施設

建物状況	名称	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年月日	新耐震基準	耐震化状況
	高鍋町役場庁舎	鉄筋コンクリート	3	3278.67	1976/11/1	×	○
	劣化診断調査結果						
	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度	
	B	B	B	A	A	81	

優先順位	A		B	C	D	A~D平均
	洪水浸水想定区域	津波浸水想定区域	劣化診断調査結果	利用者数	コスト状況	
	I	I	81	—	—	
	50	50		—	—	

対応方針	現状	1976年建築であり、築年数が経過しているが、平成26年から27年に耐震化及び大規模改修を行っている。	課題等	大規模改修は終わっているが、サッシ等の細かな建具の改修が必要となってくる。
	実施計画	適切に維持管理し、必要に応じて改修を検討する。	方針	現状維持(維持)

方針説明	今後10年間は大きな改修等は予定せず、必要に応じ小規模な改修を行っていく。
------	---------------------------------------

※令和5年までは実績、令和6年以降は計画

実施計画(10か年分)					
年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
対策内容の種別					
事業内容					
費用(円)					
年度	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策内容の種別					
事業内容					
費用(円)					

個別施設計画

施設名	高鍋町役場庁舎別館
-----	-----------

施設の概要	所在地	宮崎県児湯郡高鍋町大字上江8437番地
	担当課	財政経営課
	施設の用途	行政系施設

建物状況	名称	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年月日	新耐震基準	耐震化状況
	高鍋町役場庁舎別館	鉄筋コンクリート	2	602.56	2015/2/10	○	—
	劣化診断調査結果						
	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度	
A	A	A	A	A	A	100	

優先順位	A		B	C	D	A~D平均
	洪水浸水想定区域	津波浸水想定区域	劣化診断調査結果	利用者数	コスト状況	
	I	I	100	—	—	
	50	50		—	—	100

対応方針	現状	2015年建築で、1階スペースを貸付けており、2階は執務室として使用。	課題等	築年数が経っていないため大きな問題はない。
	実施計画	適切に維持管理し、必要に応じて改修を検討する。	方針	現状維持(維持)

方針説明	今後10年間は大きな改修等は予定せず、必要に応じ小規模な改修を行っていく。
------	---------------------------------------

※令和5年までは実績、令和6年以降は計画

実施計画(10か年分)					
年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
対策内容の種別					
事業内容					
費用(円)					
年度	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策内容の種別					
事業内容					
費用(円)					

個別施設計画

施設名	高鍋町役場庁舎第2別館
-----	-------------

施設の概要	所在地	宮崎県児湯郡高鍋町大字上江8335番地
	担当課	財政経営課
	施設の用途	行政系施設

建物状況	名称	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年月日	新耐震基準	耐震化状況
	高鍋町役場庁舎第2別館	鉄筋コンクリート	2	678.1	1970/3/25	×	×
	劣化診断調査結果						
	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度	
C	D	C	D	D	23		

優先順位	A		B	C	D	A~D平均
	洪水浸水想定区域	津波浸水想定区域	劣化診断調査結果	利用者数	コスト状況	
	Ⅲ	Ⅰ	23	—	—	
30	50	—		—	52	

対応方針	現状	令和5年度に廃止済	課題等	
	実施計画		方針	

方針説明	
------	--

※令和5年までは実績、令和6年以降は計画

実施計画(10か年分)					
年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
対策内容の種別		廃止	廃止		
事業内容		建物解体工事 施設設計	建物解体工事		
費用(円)		2,200,000	28,568,100		
年度	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策内容の種別					
事業内容					
費用(円)					

個別施設計画

施設名	高鍋町防災センター
-----	-----------

施設の概要	所在地	宮崎県児湯郡高鍋町大字上江8437番地
	担当課	総務課
	施設の用途	行政系施設

建物状況	名称	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年月日	新耐震基準	耐震化状況
	高鍋町防災センター	鉄骨造	2	270.36	2009/11/30	○	—
	劣化診断調査結果						
	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度	
A	A	A	A	A	A	100	

優先順位	A		B	C	D	A~D平均
	洪水浸水想定区域	津波浸水想定区域	劣化診断調査結果	利用者数	コスト状況	
	I	I	100	—	—	
50	50	—		—	100	

対応方針	現状	日常での利用は少ないが、災害時の避難所や消防団の詰め所として利用されているほか、会議室として利用されている。	課題等	避難所以外での利用が少ない。
	実施計画	適切に維持管理し、必要に応じて改修を検討する。	方針	現状維持(維持)

方針説明	今後10年間は大きな改修等は予定せず、これまで通り避難所を中心とした利用を行う。
------	--

※令和5年までは実績、令和6年以降は計画

実施計画(10か年分)					
年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
対策内容の種別					
事業内容					
費用(円)					
年度	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策内容の種別					
事業内容					
費用(円)					